

継続的な課題として  
考えられる内容

## 情報の取り出し・情報を関係付けた記述

### 問題の趣旨

目的や必要に応じて情報を取り出し、それらを関係付けて書くことができるかどうかをみる。

### 学習指導要領における領域・内容

[第3学年及び第4学年] B 書くこと  
書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。  
[第3学年及び第4学年] C 読むこと  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

### 【平成27年度】 通過率 52.3%

【資料1】「広島おこのみどん」

メニュー「広島おこのみどん」

(主な材料)

- ごはん
- ぶた肉
- もやし
- キャベツ
- ねぎ
- たまご
- おこのみソース
- 青のり

①

【資料2】「ひろしまじゃげえ！」

メニュー「ひろしまじゃげえ！」

(主な材料)

- ねぎ
- ちりめんじゃこ
- とうもろこし
- 天ぷら粉
- たまご
- 油

②

【資料3】「広島町の特産品ベスト3」

順位	食材
1	ねぎ
2	ちりめんじゃこ
3	こまつな

③

【資料4】「ひろしま給食」を食べた人の感想

「ひろしまじゃげえ！ねぎちりめんじゃこは、ねぎととうもろこしをあまみがつてもおいしいです。」

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合わせて、とてもおいしいです。」

②①

【正答例】

わたしのおすすめは、「広島おこのみどん」です。  
「広島おこのみどん」には、広島町の特産品ベスト3に入っている、ねぎが使われています。  
食べた人が、おこのみソース味がごはんに合わせて、とてもおいしいと言っていました。  
ぜひ、おうちでも食べてみてください。

【資料1】給食を作っておられる先生の話

「ひろしま給食100万食プロジェクト」では、広島ならではのメニューを開発し、広島県の学校給食でそのメニューを出しています。  
みなさん、今回のメニューはどうでしたか。この「ひろしま給食」には、大切にしていることがあります。それは栄養バランスが整って、「ひろしま」らしい給食を作りたい、子どもたちが食べたくて、おうちでも作ってほしいという思いです。

②

【資料2】「ひろしま給食」を食べた人の感想

「広島おこのみどん」は、おこのみソース味がごはんに合わせて、とてもおいしいです。」

①

【正答例】

わたしのおすすめは、「ひろしまじゃげえ！ちりめんじゃこ」です。  
「ひろしまじゃげえ！ちりめんじゃこ」には、広島町の特産品ベスト3に入っている、ねぎが使われています。  
食べた人が、おこのみソース味がごはんに合わせて、とてもおいしいと言っていました。  
ぜひ、おうちでも食べてみてください。

### 【平成28年度】 通過率 29.9%

なぜ、動物園では世界中から来た動物が元気にくらせるの？

【資料1】「青い方」について

例えは、ホッキョクグマは、ホッキョクグマのくらしの場所「氷」に合わせた生活を送っています。ホッキョクグマは、氷水たよう凍結と解凍を繰り返して生きています。そのため、人工の氷をつくらなくても、自然の氷で生きています。また、オランウータンは、オランウータンのくらしの場所「木」に合わせた生活を送っています。オランウータンは、木の上で生活し、木の実や果物を食べて生きています。また、フクロウは、フクロウのくらしの場所「木」に合わせた生活を送っています。フクロウは、木の上で生活し、木の実や果物を食べて生きています。

①

【資料2】「動物園の動物たち」

動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。

②

【資料3】「動物園の動物たち」

動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。動物園の動物は、本来に暮らす場所から離れた場所に来ています。

③

【正答例】

オランウータンの場合は、オランウータンのくらしの場所「木」に合わせて生活しています。そのため、木の実や果物を食べて生きています。また、フクロウは、フクロウのくらしの場所「木」に合わせた生活を送っています。フクロウは、木の上で生活し、木の実や果物を食べて生きています。

### 内容の系統

第1・2学年 書くこと  
語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。

第1・2学年 読むこと  
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 書くこと  
書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

第3・4学年 読むこと  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 書くこと  
事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

第5・6学年 読むこと  
目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

### 通過率の推移

国語のタイプIIでは、平成27年度より、目的に応じて複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述する問題を出題しています。

平成27年度は通過率52.3%でしたが、平成28年度は通過率29.9%となりました。これは、平成27年度は、取り出す情報に関わるキーワードが小見出しに示されていたため、情報が取り出しやすかったのに対し、平成28年度は、取り出す情報が情報量の多い文章中に配置されており、小見出しだけを頼りにして情報を取

年度	H27	H28
通過率(%)	52.3	29.9

り出すことができなかつたためだと考えられます。また、問題文中の例文を参考に、取り出した情報同士を関係付けて記述ができていないことも原因の一つとして考えられます。

そこで、平成 28 年度の学力調査報告書では、これらのことを課題として取り上げ、授業改善のポイントを示しました。平成 29 年度は、課題に対する授業改善の状況を把握するため、平成 28 年度と同様に、取り出す情報が情報量の多い文章中に配置されている問題を出題しました。



**解答類型を基に児童の誤答を分析しましょう。個々の児童のつまずきを把握し、その個に応じた具体的な手立てを講じていきましょう。**

## 平成 29 年度の問題及び解答類型と分析

**③** 条件③「家でもできる練習があるよ」からの情報の取り出し

**②** 条件②「鉄ぼう名人 池田さんのおすすめ練習法」からの情報の取り出し

**①** 条件①「つまずきチェック」からの情報の取り出し

**①** ぼくは、足をふり上げて回るところまではできるのですが、体を起き上がらせることができません。どんな練習をしたらうまくできるようになりますか。

**【正答例】**  
うでの使い方が悪いと、起き上がれません。うでのぼすようにして鉄棒をおしながら上半身を起こしましょう。  
おすすめの練習法は、鉄ぼうにおなかをかけ、ぶらさがったじょうたいから体を起こすことです。家でできる練習には、うつぶせになって、足をもつてもらい、手の力だけで前へ進んでいく手おし車の練習があります。

解答類型	H29 (%)	自校
○ 条件①②③を満たしている。(内容の順序が違っても、正しい文脈で書かれていれば正答とする。)	32.8	
× 条件①②を満たしているが、条件③を満たしていない。	11.2	
× 条件①③を満たしているが、条件②を満たしていない。	1.0	
× 条件②③を満たしているが、条件①を満たしていない。	1.6	
× 条件①を満たしているが、条件②③を満たしていない。	6.4	
× 条件②を満たしているが、条件①③を満たしていない。	1.4	
× 条件③を満たしているが、条件①②を満たしていない。	1.0	
× 上記以外の解答	27.2	
— 無解答	17.5	

**【分析】**  
解答類型を見ると、正答の条件①、②は満たしているものの、条件③を満たしていないものが 11.2% という結果であることから、情報量の多い文章中に配置されていた条件③の情報を取り出し、関係付けて記述することに課題があることが分かります。また、「上記以外の解答」が 27.2% と多くなっていますが、これは、条件①、②、③の全ての情報を取り出し、それらを関係付けて記述ができなかつたと考えられます。

**継続的な課題**  
○ 情報量の多い文章の中から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述することに課題がある。

**【今後の指導に向けて】**  
情報量の多い文章の中から、必要な情報を取り出し、それらを関係付けて記述させるためには、次のような指導が必要になります。

- 説明的な文章を読ませるときには、読む目的に応じて中心となる語や文に注目して要点をまとめたリ、小見出しを付けたりして内容を整理させる。
- 複数の資料の中から必要な情報を取り出させるときには、文章や図表、グラフなどがそれぞれ何の情報を表しているのかを読み取らせる。
- 取り出した情報を関係付けて記述させるためには、資料からの引用の仕方や文章構成、文と文とのつなぎ方等について、基本的な事項を指導する。
- 他教科等の学習と関連させたり、読む目的に応じて、本や文章をはじめ新聞や雑誌、インターネットやパンフレット、リーフレットなどの資料を意図的に活用したりする言語活動を設定する。

## 授業改善のポイント

- 説明的な文章から、目的に応じて、中心となる語や文を抜き出し、それらを使って要点をまとめる等、文章から必要な情報を取り出す学習をさせましょう。
- 複数の資料からの情報の引用の仕方や情報を関係付けて自分の考え等を記述する際の、文章構成や文と文とのつなぎ方等について、基本的な事項を指導しましょう。
- 他教科等と関連させたり、学校図書館等を活用したりする言語活動を設定しましょう。

【平成二十九年度】

【鉄ぼうに関する読み物の一部】

ヒントがいっぱい！これできみもさか上がり名人！

さか上りの手順

さか上りの絵

1 地面をける 2 足をふり上げる 3 ももを鉄ぼうにのせる 4 起き上がり ささえる 5 着地する

**つまずきチェック**

ふり上げた足が落ちてしまおう！  
ここがポイント  
ふり上げた足が鉄ぼうからはなれて、足がうまく上がらない。鉄ぼうの上をけるつもりで、足をふり上げよう。

足をふり上げた胸に体がそってしまおう！  
ここがポイント  
体がそってしまうと、うでのひたまり、鉄ぼうからこしがはなれてしまおう。あごを引いておへそを露出しよう。

起き上がれない！  
ここがポイント  
うでの使い方が悪いと、起き上がれない。うでのぼすようにして鉄ぼうをおしながら上半身を起こそう。

鉄ぼう名人 池田さんのおすすめ練習法

足をふり上げる練習  
ふり上げたひざで自分のおでこをけるようにして、足をふり上げる。

あごを引く練習  
あごにハンカチをはさんで、鉄ぼうをもち、おへそを鉄ぼうにつける

上半身を起こす練習  
鉄ぼうにおなかをかけ、ふらさがったじょうたいから体を起こす。

家でもできる練習があるよ！

さか上がりができるようになるための練習には、家でもできるものがたくさんあります。たとえば、足をふり上げるためには、足で地面をけり上げる力も必要ですが、これには、片足で立ち、体の前でのびた足を高くけり上げる練習がおすすめです。おへそを鉄ぼうに近づけることができるようになるには、ふとんの上で、ダンゴ虫のように体を丸め、こしを上げる練習がおすすめです。上半身を起こすためには、うでの力も必要ですが、これには、うつぶせになって、足をもつてもらい、手の力だけで前へ進んでいく手おし車の練習がおすすめです。